

星野 渉 (文化通信社取締役編集長)

菊池明郎 (筑摩書房代表取締役会長)

両氏に訊く

努力すれば必ず結果はついてくる 『NEVER GIVE UPの出版経営』

ますます厳しくなる出版産業の状況下、電子出版時代の「新しい出版経営のあり方を探る」経営者・管理職者のための講座です。こんな時代だからこそ、“経営実態を正確に把握”し、“単品管理を徹底”し、データに基づく管理職者のマネジメント力を高める必要性が強まっています。

そこで本講座では、出版産業を取り巻く状況に精通しておられるお二人の講師から、“販売と経営を繋ぐ力＝マネジメント力”を高める経営戦略・営業戦略を教えます。

●参加要項●

- ◆講師 星野 渉氏 (文化通信社取締役編集長)
菊池 明郎氏 (筑摩書房代表取締役会長)
- ◆日時 平成 24 年 4 月 18 日(水) 13:30~18:00
- ◆会場 日本出版クラブ会館 (3階・会議室)
(東京都新宿区袋町6 都営大江戸線 牛込神楽坂駅より徒歩2分)
- ◆受講料 出版クラブ維持員社 10,000 円 (一般参加者 12,000 円)
- ◆定員 80 名 (申込順、定員になり次第締切らせていただきます)
- ◆申込 別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてお申込み下さい FAX 03-3267-6095
- ◆振込先 三菱東京 UFJ 銀行 神楽坂支店 普 0062459
口座名: ザイ) ニホンシュッパンクラブ
当日会場での直接お支払いは受付ておりません。
- ◆お問合せ 日本出版クラブ事務局 担当/杉山・和田
TEL 03-3260-5271

連続集中講座 第1回

出版経営実務講座

経営者・管理職者のための

日本出版クラブ
東京都新宿区袋町6 TEL03(3260)5271

新しい出版のあり方を考える

講義内容

第1部 「2012年 いま、出版産業では」13:30~15:20

星野 渉氏 (文化通信社取締役編集長)

東日本大震災の被害と出版産業近未来
被災地の返品問題、取次—出版社間で入帳交渉の経緯
大震災出版対策本部の復興基金などの取り組み
出版市場、書籍の返品率減少、過剰供給からの脱却
JP0、書店の未来を考える経済産業省の委託事業計画
業界再編=デジタル化のもたらす産業構造変化
取引制度改革=出版産業の基盤である取引制度の変化
責任販売制 (計画販売制)・マーケティングの強化

■ 質疑応答
(10分休憩)

第2部 「出版社の経営課題と出版業界の課題」15:30~17:45

菊池 明郎氏 (筑摩書房代表取締役会長)

■ 出版市場縮小のなかで何をなすべきか
筑摩書房経営改革のポイント
倒産から現在に至るまでの経営改革

1. 出版社経営への提言
新刊企画の重要性、営業の重要性、出版人の条件、取締役の責務 など
2. 出版業界への提言
責任販売制・返品・時限再販など、電子書籍、市場活性化の可能性 など

■ 質疑応答

講師略歴

星野 渉 (ほしの・わたる) 氏

1964年東京都生まれ、89年國學院大學卒。株式会社文化通信社取締役編集長。日本出版学会理事・事務局長。東洋大学非常勤講師。専門紙記者として出版産業の変化を最前線で取材してきた。
主な著書：共著に『オンライン書店の可能性を探る—書籍流通はどう変わるか』(日本エディタースクール、2001年)、『白書出版産業2010』(文化通信社、2010年)、『出版メディア入門』(日本評論社、2006年)、『出版デジタル化の本質を見極める—本の学校・出版産業シンポジウム2010記録集』(出版メディアパル、2011年)などがある。

菊池 明郎 (きくち・あきお) 氏

1947年東京都生まれ、71年国際基督教大学教養学部卒。同年、株式会社筑摩書房に入社、営業部、編集部、販売課長、取締役販売部長などを経て、1999年代表取締役社長、2011年代表取締役会長に就任。日本書籍出版協会副理事長、出版梓会理事長、出版再販研究委員会副委員長、人文会会長、日本出版クラブ常任理事などの任にある。
主な著書：『営業と経営から見た筑摩書房』(論創社、2011年)がある。

(進行の都合で、若干内容変更が生じる場合もあります)